

水稻の生育状況（7月5日現在）と栽培上の留意点について

発信日：2024年7月8日

1 生育状況

7月5日現在の水稻の生育状況は、平年値(2014～2023年までの過去10年平均)と比べて、表1のとおりです。

表1 水稻の生育状況(7月5日現在)

品種	移植時期	草丈	茎数	葉色
はるみ*	6月上旬	長い	少ない	同等
	6月中旬	やや長い	やや多い	同等
キヌヒカリ*	6月上旬	長い	少ない	同等
	6月中旬	同等	少ない	同等
てんこもり**	6月上旬	長い	少ない	やや濃い
	6月中旬	長い	少ない	同等

*2014～2023年までの過去10年平均との対比、**2018～2023年までの過去6年平均との対比

2 栽培上の留意点

気象庁が7月4日に発表した1か月予報(7/6～8/5)は、気温は「高い」、降水量は「平年並か多い」、日照時間は「平年並か少ない」見込みとなっています。今後の栽培管理については、次の点に留意してください。

(1) 出穂期

出穂期は、現時点の生育と今後の気象予報から平年並～やや早いと予想されます。

(2) 中干し

中干しは、過剰分けつ抑制と根への酸素供給、田面を固め倒伏を予防するために実施します。最高分けつ期頃から5～7日程度水を切り、田面に軽いひび割れができる程度に干しましょう。

(3) イネツトムシ(イチモンジセセリ)の防除(写真1)

イネツトムシの防除適期は、粒剤で孵化最盛日の5日前、その他の薬剤で孵化最盛日から5日後程度です。

今年の県内各地の孵化最盛日の予測は、病虫害防除部の「令和6年度防除情報(病虫害情報号外第5号)」を参照してください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/108747/2024070105.pdf>



イネツトムシ(写真1)

左 ;被害状況(複数の葉が綴り合っている)
中心;幼虫
右 ;成虫

(4) 水田周辺の雑草管理

斑点米カメムシ類（写真2）は水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田内に侵入し、粃を吸汁して斑点米を発生させ、落等の要因となります（写真3）。日頃から畦畔や水田周辺の除草管理を徹底しましょう。ただし、出穂期頃の除草は、水田に斑点米カメムシ類を追い込むため、畦畔雑草の除草は出穂 10 日前までに終わらせましょう。



ホソハリカメムシ



クモヘリカメムシ



アカスジ
カスミカメ



アカヒゲホソ
ミドリカスミカメ



イネカメムシ



斑点米（写真3）

斑点米カメムシ類（写真2）

(5) ナガエツルノゲイトウ（写真4）

ナガエツルノゲイトウの発生地域が拡大しています。水田に疑わしい雑草が見られた時は、最寄りのJAまたは農業技術センターに連絡してください。

なお、ナガエツルノゲイトウの防除は農業技術センターホームページ掲載されている世界最悪の侵略的植物「ナガエツルノゲイトウ」に警戒を！を参照してください。



ナガエツルノゲイトウ（写真4）

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/88221/r6nagaeboujyo.pdf>



※ この他の病虫害防除対策は、病虫害防除部の「令和6年度病虫害発生予察情報」を参照してください。

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/2024_4_01.html



※ また、薬剤防除を行うときは、病虫害防除部の「令和6年度防除情報（病虫害情報号外第4号）」を参考に、適切な農薬使用をお願いします。

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/108747/20240701_nouyaku.pdf



(5) 農作業安全

農作業中の熱中症に注意してください。熱中症の予防には日中の気温が高い時間帯を外して作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等の工夫を行いましょう。のどが渇いていなくてもこまめに水分補給するとともに、帽子の着用や汗を発散しやすい服装を心がけましょう。

台風などの大雨時の水田等の見回りは大変危険です。気象情報及び周囲の状況を十分に確認し、安全な状況になるまでは行わないでください。

なお、農作業を行う際はなるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。

【参考】

表2 農業技術センター（平塚市）における過去10年（2013～2022年）平均

作期	品種名	中干し時期	穂ばらみ期	出穂期
6 月 上 旬 植	はるみ**	7月11日～16日頃	7月26日～8月10日頃	8月10日
	キヌヒカリ	7月10日～15日頃	7月25日～8月9日頃	8月9日
	てんこもり*	7月16日～21日頃	7月31日～8月15日頃	8月15日
6 月 中 旬 植	はるみ**	7月17日～22日頃	8月1日～8月16日頃	8月16日
	キヌヒカリ	7月15日～20日頃	7月30日～8月14日頃	8月14日
	てんこもり*	7月20日～25日頃	8月4日～8月19日頃	8月19日

・ 穂ばらみ期は、出穂期約15日前～出穂期までの期間。水稻が最も水分を必要とする時期なので、湛水状態を保つようにする。

・ *2018～2023年（6年平均）のデータに基づく。 **2015～2023年（9年平均）のデータに基づく。

問合せ先

農業技術センター普及指導部作物加工課

TEL：0463-58-0333 内線381～384